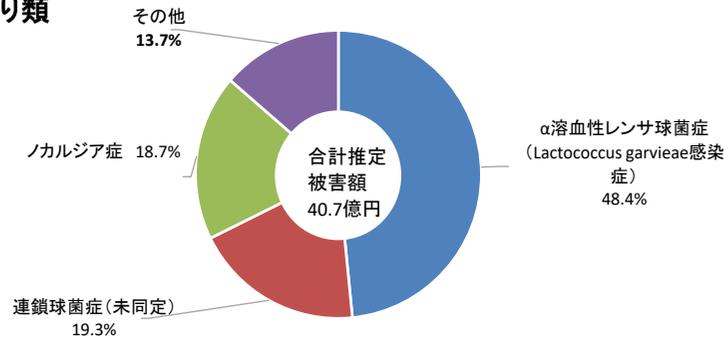


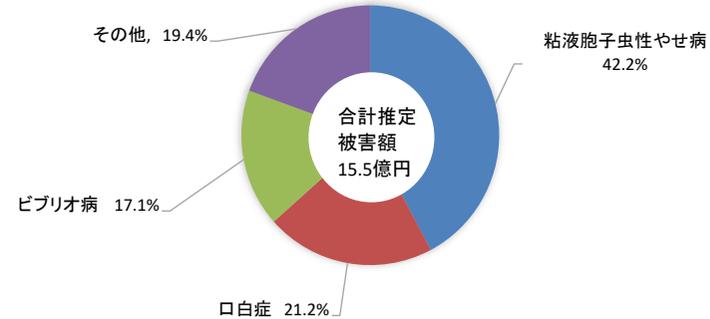
魚病被害の内訳（令和2年）

被害額の大きい魚種	合計生産額 (百万円) (A)	合計推定被害額 (百万円) (B)	(B/A)	被害割合の高い疾病					
				1位	被害額に占める割合	2位	被害額に占める割合	3位	被害額に占める割合
1 ぶり類	106,536	4,074	3.8%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	48.4%	連鎖球菌症 (未同定)	19.3%	ノカルジア症	18.7%
2 ふぐ類(とらふぐ、まふぐ)	7,271	1,553	21.4%	粘液胞子虫性やせ病	42.2%	口白症	21.2%	ピブリオ病	17.1%
3 うなぎ	66,115	1,181	1.8%	ウイルス性血管内皮壊死症 (鰓うっ血症)	26.9%	パラコロ病	23.0%	細菌性鰓病 [BGD]	16.0%
4 まだい	44,305	1,099	2.5%	エドワジエラ症 (パラコロ病以外のエドワジエラ・タルダ感染症)	46.8%	滑走細菌症	10.8%	Streptococcus iniae感染症 (β溶血性レンサ球菌症)	8.4%
5 くらまぐろ	48,198	1,002	2.1%	マダイイリドウイルス病	34.6%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	33.1%	ビタミンB1欠乏症	15.5%
6 くるまえび	6,341	732	11.6%	ピブリオ病	84.4%	ホワイトスポット病 [WSD] ノクルマエビ急性ウイルス血症 [PAV]	12.6%	鰓黒病 (フサリウム症)	1.8%
7 ひらめ	2,577	344	13.4%	エドワジエラ症 (パラコロ病以外のエドワジエラ・タルダ感染症)	84.5%	不明病 (原因不明)	3.8%	Streptococcus iniae感染症 (β溶血性レンサ球菌症)	3.6%
8 その他の海産魚類	3,274	266	8.1%	ピブリオ病	31.9%	不明病 (細菌性)	23.3%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	17.5%
9 しまあじ	6,258	231	3.7%	α溶血性レンサ球菌症 (Lactococcus garvieae感染症)	71.1%	連鎖球菌症 (未同定)	23.2%	ノカルジア症	2.5%
10 あゆ	6,231	211	3.4%	冷水病 (細菌性冷水病) [BCWD]	72.3%	ピブリオ病	7.6%	エドワジエラ・イクタルリ感染症	7.4%

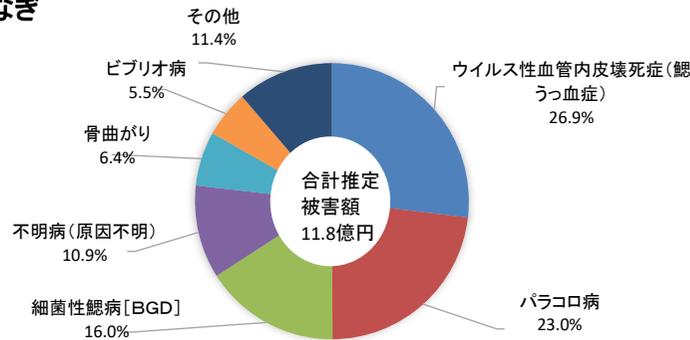
ぶり類



ふぐ類



うなぎ



まだい

